

番号	氏名	抱負
101	木村 智茂	日本放射線技術学会が様々な学際領域を包含していることで、人間の健康を支え、命を守るという根本的な使命を貫いていくことが可能と考えます。私は本学会に参画し、公平公正な学会運営が出来るように、さらに様々な研究の一つ一つに価値を付加するために一生懸命努力する所存でございます。われわれの抱く夢と希望は画像の中に誰もまだ見ぬ世界を作り出すことであると考えております。よろしくお願いたします。
102	久家 教幸	日本放射線技術学会九州部会で理事を担当しています宮崎大学医学部附属病院の久家と申します。この度代議員として立候補しました。宮崎県、ならび九州の放射線技術の発展に少しでもお役に立てればと考えております。どうぞ、よろしくお願いたします。
103	工藤 環	
104	國友 博史	私自身、放射線業務をする際、常に適切な手法の選択により業務を遂行する放射線技術の必要性を感じております。そのため、日本放射線技術学会の発展を通じ、多くの学術成果が社会に還元され、また、診療放射線技師の技術の向上やそれを普及させる教育によって、より多くの患者の利益につながればと思ひ、微力ながら代議員に立候補いたしました。
105	久場 匡	私は沖縄県放射線技師会の理事を務めており、今年度から技術学会の理事も務めさせていただくことになりました。両会の橋渡しをやらせていただくとともに、沖縄県を盛り上げてくれた前任者のあとを継ぐ重責に身が引き締まる思いであります。今回の立候補は沖縄県会員の意見をさらに全国の場に反映させていきたいとの思いで思い立ちました。よろしくお願いたします。
106	黒藤 邦夫	現代医療において、放射線医療は必要不可欠であり、その一翼を担う放射線技術学は医療科学として、更なる発展が必要と考えます。その為には、医療放射線技術に関するエビデンスの確立が必要で、当学会の存在は重要であると考えます。特に予防医学におけるエビデンスの確立にむけ、努力したいと考えています。また、エビデンスに基づく放射線技術の普及に努め、広く社会に貢献できる学会に発展させていきたいと考えています。
107	小泉 幸司	
108	木暮 陽介	日本放射線技術学会総会小委員会副委員長を務めさせていただいております。本会の事業に積極的に関与し、会員の皆様への貢献に寄与していきたいと思ひます。また、放射線技術学の更なる発展と公益性を考慮し、代議員として責務を果たしていきたいと思ひますので宜しくお願いたします。
109	古崎 昌宏	
110	小濱 千幸	代議員として3期目の立候補となります。会員の男女比と比較し、代議員の女性が少ないのご意見もあります。女性だからという特別視ではなく、女性ならではの視点、感性を發揮して欲しいとの期待があるのだと感じています。長年技師長として培ってきた調整役としての経験をもとに、組織の活性化に尽力したいと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。